

## 町内会活動における男女共同参画の推進について

多くの町内会では、町内会活動の担い手の高齢化や確保が困難という課題がおこっています。また、一人暮らしの高齢者の増加や人口減少、災害時の対応などの地域課題の多様化により、様々な取組が必要となっています。

しかしながら、町内会アンケート結果から、町内会役員は世帯主が行う場合が多く、その結果、高齢男性になっているケースが多く見られています。持続可能な町内会活動のためには、その担い手を、一部に偏ることなく、男女を問わず幅広い年齢層で構成されるよう、多様化していくことが必要となります。その中でも住民の半数を占める女性がより積極的に町内会活動に参画することは、大変大きな意義があります。

女性が役員に参画することのメリットとして「運営に多様な視点が生まれる」「地域をよく知り、細かい配慮のある運営ができるようになった」といったことがあげられます。町内会活動における男女共同参画を進めていきましょう。



### 具体的な方策

#### ① 町内会申込書、規約の見直し

女性や多様な世代の参画を進めるためには、町内会活動の単位を世帯単位ではなく、個人単位として考えていく必要があります。

町内会の入会申込書を、世帯主のみとしていたり、役員には世帯主しかできないといった規約がある場合、入会申込書の変更や、規約の変更を行きましょう。

#### ② 役員への女性の参画

役員選出の際は、世帯から誰が候補者となるのか確認するなど、世帯主に限らず、世帯の誰もが役員に参画できるようにしましょう。

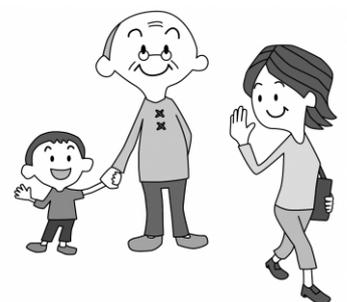
また、役員等で女性の割合が低い場合は、ポジティブアクション（積極的改善措置）として女性枠を設ける等の取組を行きましょう。具体的には、民生委員や児童委員、子ども会役員といった各種団体役員や経験者を、役員や組長へ登用することも考えられます。

#### ③ 町内会業務の見直し

会長・役員の仕事負担が大きいことが課題となっています。業務の見直しや事務改善を行うことで、女性や若い世代等、誰もが担い手になりやすくなり、町内会活動の持続可能性を高めていくことにつながると考えられます。

##### （具体的な見直し、改善例）

- ・町内会会長・役員の仕事負担の軽減や役割分担の見直し
- ・前会長や前役員が現会長や現役員をサポートする仕組みの導入
- ・町内会長業務の見える化を行う「引継ぎ帳」の作成
- ・会長・役員業務を担いやすいよう、業務のマニュアル化の推進



## 町内会活動へ女性が参画することの重要性(全国の女性自治会長のコメント)

- 子育てや福祉の課題は、女性の視点が重要だと思います。子育て中の母親のサークルや高齢者の集まりに参加して話をし、課題があれば行政につなげるようにしています。女性や高齢者が集まる場所には、女性のほうが入っていきやすいと思います。また、子どもたちからも気軽に話しかけてもらえると感じています。(佐賀県武雄市武雄町川原区自治会)
- 女性がひとり入ることで、場の雰囲気が変わることがあります。男性同士のつながりもスムーズになり、揉め事が少なくなります。女性の意見を聞くことで、男性自身の考え方の多様化にもつながると考えられます。また、男性同士で意見の相違があると、すぐに喧嘩のようになってしまうこともあります。女性が間に入ると、比較的穏やかにその場が収まることがあると感じます。(兵庫県小野市広渡町自治会)
- 自然災害の多い日本で、避難場所で子どもや高齢者へのきめ細やかな対応には、女性の活躍が重要だと思っています。(茨城県古河市東杉並町自治会)
- 生活に密着した女性の役員だからこそ、女性からの身近な意見や要望を拾い上げることができると思っています。例えば、ゴミ出しや普段の生活のことや細かい相談ごとが増加しました。女性が役員に入ることによって、若い人が町内に入りやすくなったとの声を聞いています。女性同士や近隣自治会とつながりを作り、女性が得意とする情報共有を通して、自治会に新しい視点を加えることができ、新しい提案ができると考えています。(静岡県静岡市駿河区中田一丁目自治会)



(参考)資料出典:[https://www.gender.go.jp/kaigi/kento/chiiki/h30\\_index.html](https://www.gender.go.jp/kaigi/kento/chiiki/h30_index.html)

